

# 皇后杯 第35回 全国女子駅伝

開催日:平成28年1月15日(日)

場所:西京極陸上競技場スタート・ゴール

種目	名前	学年	記録	着順	備考
9区10km	渡部 貴江	.3年	35分38秒	区間44位 (47チーム)	岩手県チーム 総合42位

## 【山本コメント】

35回の歴史がある都道府県対抗の全国女子駅伝。42.195kmの距離を社会人、大学生、高校生、中学生ランナーが9区間にわたってタスキをつなぐ。郷土色が強く出る大会で、会場では県人会による地元応援も多い。今回、北海道陸協から旭川市出身の田中愛里に、岩手陸協から盛岡市出身の渡部貴江に、三重陸協から松阪市出身の床呂沙紀に出場要請があり、それぞれが代表チームの一員として参加した。前日からの雪が降り積もり、当日も時折雪が降りしきり、大会の開催が危ぶまれたが、大会役員、ボランティアなど、様々な人たちの協力の下、無事に執り行われた。

渡部が昨年に引き続き9区10kmを担って走った。9区は各チームのエース級が走る区間であり、その中でベストを尽くして走ったが、順位を2つ落としてのゴールとなった。床呂と田中は今回は控えメンバーに回り、チームのサポートを行った。

郷土の都道府県代表の選手として走れることは、たいへん光栄なことである。来年以降もさらに多くの部員が出場要請を受けられるように期待したい。